

環境デザイン学科 4年間の学び

私たちを取り巻く環境には、都市や公園のような大きな空間から住宅のような小さな空間まで、スケールも用途も様々な空間がある。それらは、人々のつながりや周辺の自然のあり方と相互に密接に関係しあい、私たちの生活空間を形成している。一方、それは人々の記憶を蓄積し、反映した歴史的空間でもある。環境デザイン学科では、生活空間が成り立つ仕組みを理解し、時代が求める新しい空間をデザインする方法を学ぶことを目標としている。「まちづくり」「ランドスケープ」「建築」「リノベーション」の4つのコースがあり、全コースに共通する基本的な知識や技能を身につけた後、ひとりひとりの適性や関心に応じて、コースごとのより高度な専門分野へと学習を深めていく。

1年

環境・建築デザインの基礎をしっかりと学ぶ

環境や建築のデザインをこれから学ぼうとする学生が知っておくべき基本的な考え方を、講義科目を通して学んでいく。演習科目では、デザインを行うための基礎的な技術を修得する。今後の履修に必要な基礎をしっかりと固めていく。

基礎技能の学習

学科共通科目

環境デザインとはⅠ・Ⅱ | 建築構造入門 | 近代建築の歴史 | 環境デザイン基礎演習Ⅰ・Ⅱ | CAD基礎演習

特別科目

フレッシュマンセミナー | 環境デザイン特別講義A

2年

すべてのコースに共通した専門科目を学習する

「まちづくり」「ランドスケープ」「建築」「リノベーション」の各専門分野に関係の深いバラエティに富んだ科目を編成。実習科目はスタジオでの制作が中心になる。学科の専任教員だけでなく、講師として招いた各領域において優れた実績をもつ専門家が指導する。

共通専門領域の学習

学科共通科目

日本建築の歴史 | 西洋建築の歴史 | 力の流れと安全 | 建築空間のデザイン | 都市空間のデザイン | ランドスケープデザインの歴史 | ランドスケープ空間の歴史 | 建築と熱・光・空気のデザイン | 構造のデザイン | CAD応用演習 | 環境デザイン実習Ⅰ・Ⅱ | デザインプロセス論 | 福祉住環境論 | ワークショップ

特別科目

環境デザイン特別講義B

3年

より専門的な課題に取り組み卒業研究に向けた準備を行う

後期からはコース別に分かれた学習が始まり、実習科目の課題内容もそれに対応して分かれる。それぞれの専門に特化したテーマについて実習と演習課題をこなしていくことで、高度な知識と技術を身につけていく。3年修了時には、それぞれのゼミ配属を決定する。

リノベーションコース

建築コース

ランドスケープコース

まちづくりコース

学科共通科目

建築と法規 | まちづくりのしくみ | 住居・集落・街 | ランドスケープのプランニング | 環境制御の技術 | 施工の技術 | コミュニティのデザイン | インテリア空間のデザイン | リノベーションの理論と実践 | 構造デザインの実践手法 | 環境測定ワークショップ | 構造・材料ワークショップ | 環境デザイン実習Ⅲ | 照明デザイン

コース科目

まちづくり総合実習 | ランドスケープ総合実習 | 建築総合実習 | リノベーション総合実習 | デザインプロジェクトA・B・C

特別科目

環境デザイン特別講義C

4年

ゼミに所属し研究活動 4年間の成果をまとめる

ゼミに所属し、それぞれの研究テーマを専門とする教員からの個別指導を受けながら、卒業研究（卒業論文と卒業制作の両方）に取り組む。卒業研究は、専門コースごとに分かれた学習内容を再び統合化する役割も担っており、どのコースでもさまざまな職業・資格に結びつく教育を実践している。

卒業研究

地域 都市 集落 コミュニティ
団地 まちなみ 歴史 文化
街路 広場 公園 緑地
エコロジー 持続性 エネルギー
風景ウォーターフロント
公開空地 オフィス 店舗
福祉 教育 公共施設 保存
再生 改修 住宅 インテリア
フォーラム 照明 舞台
インスタレーション 家具
ディスプレイ パフォーマンス

特別科目

環境デザイン特別講義D | 卒業研究

※インタラクティブデザインコース対象には別途専門科目が設置されています。



環境デザイン